

# 積極性へ。

ナ

ル

テ

イ

1

Atelier Lulua

~The Scion of Arland~

ficus × piana fanbook



「R18」  
— FOR —  
ADULT  
ONLY  
」



本編ED後、恋人関係になっても  
それぞれに旅をしていたふたりが  
とある街で久しぶりに合流する、  
というあらすじです。

フィクスは一人旅、  
ピアニャはトリ達との旅の途中で  
一旦別行動しているイメージです。

- ※R18
- ※お互いの出自を理解している。
- ※その上で両思いな二人。
- ※捏造とキャラ崩壊しかない。

フィクピアなら本当になんでもいい方向け。

長い時を  
生きる  
彼にとって

あたしはきつと  
ただの通過点に  
過ぎない

でもそれで  
構わなかった

自分の責じゃない  
あたし達のことを  
想って歪める  
その表情に、

その  
優しい心に

あたしが  
寄り添いたいと  
願っただけ

過ごす  
日々に

交わる体に  
愛の言葉は  
いらぬ

明日、  
明後日

いつか  
通り過ぎてゆく  
あなたの手を

すぐにだって  
離せるように

……ただ、



こんな形に  
なるとは  
思ってた  
なかつた  
けど

明日  
久しぶりに  
会う予定だ  
った  
恋人(仮)  
が

娼館に  
入って行く  
姿を  
見てしま  
った

どん

いやいや！  
確かに軽そうには  
見えるけどあの  
フィクスさんよ？

きっと何か  
別の理由が…

娼婦の人と  
腕組んで  
娼館に入っ  
てく  
理由なんて  
ひとつしか  
ないでしょ

現実逃避…！

…飽きられた  
ってこと  
かしらね





あたしに何も  
言ってこない  
うちに  
こんなことして

そこは  
腹立っても  
いいわよね

むっ

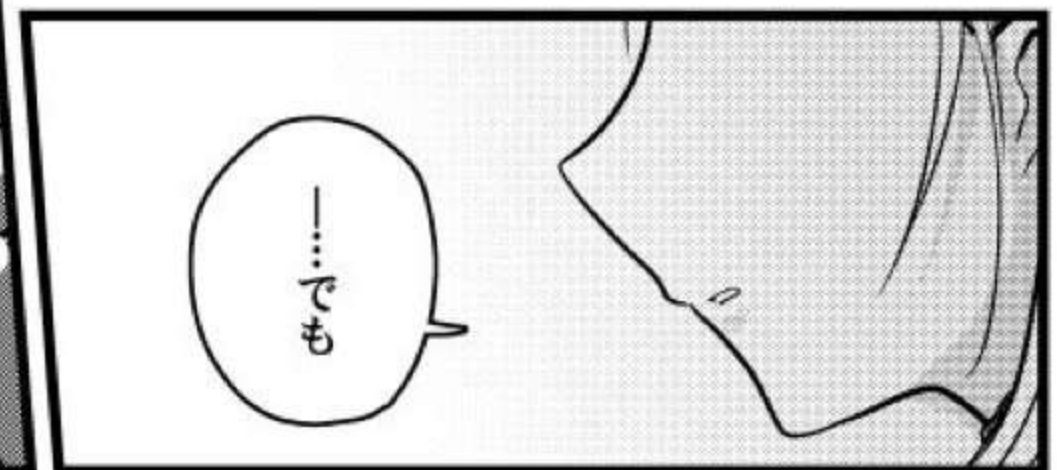


別に

いつか  
別れるって

分かってて  
傍にいたんだし

うん



…でも



バシなきや  
いいって  
思ってるん  
でしようけど

おあいご様！

このままじゃ  
納得しないん  
だから



…決めた

これは  
嫉妬とかじゃ  
なくて

そう

ひとつの  
けじめを付ける  
ためであり、





不誠実な  
彼への

お仕置き  
なのだ



これは  
一体……

えーっと……



なぜ  
こうなってるのか  
全然記憶がない

確か宿に戻ったら  
ピアニヤちゃんが  
迎えてくれて

浮かれてお土産を  
晩酌してもらった  
ところまでは……

ていうかこれ  
結び目がないのに  
全然解けない

生きている  
ナワカ

なんで  
こんな……

フィクスさん

ギ  
ヂ  
ツ







フィクスさんに  
ちやんと効くか  
不安だったけど

さっきの  
眠り薬が  
効いたなら  
大丈夫よね…

やっぱり  
何か盛って…

って  
ちよっと!?

そりや  
フィクスさんは  
され慣れてるん  
でしようけどっ

何言ってる…

早…!  
さっきの  
精力剤か…!?







だめ

えっ!?



もう  
射精……!

ピアノニヤちゃん  
ごめ……!

っぐ……

はあ……

あーんっ  
ぬっ  
ぬっ  
ぬっ

ぬっ  
ぬっ  
ぬっ

ぬっ  
ぬっ  
ぬっ

ぬっ  
ぬっ  
ぬっ



まさか……



射精<sup>だ</sup>しちや  
だめですから

…これは  
お仕置きなの

あたしが  
いって  
言うまで









視覚的な  
扇情も  
相まって……!

これは……!



ピアノヤちゃん!  
本当に勘弁……!

これ、  
はっ



お仕置き、  
なんだから……っ

せめて  
理由をー!



私にや

だめっ!!

いらッ!?



これ以上は、  
限、か





昨夜  
フィクスさんが  
どこにいたか  
知ってるの

…あたし

!



…あたしは  
フィクスさんと  
同じじゃないし

長く続くなんて  
思ってたかった

…でも  
それでいい  
って思ってた



昨夜!?

君がこの街に  
着いたのは  
今日じゃ…

…否定  
しない



…でも

昨夜のこと  
思い出すと

胸が  
苦しくて

嫌だって  
泣きたくて…

自分でも  
知らなかった



だから今日で  
最後に  
しようって

最後、  
って…









経営者は  
元貴族の上  
確たる  
証拠もない

警備団も迂闊に  
踏み込めない  
状況が続いていた



あの娼館は

違法に  
未成年を娼婦に  
雇っていた



そこに  
ステルクさんや  
ミミさんと親交のある  
私がこの街を訪れ、

それを知った  
警備団から  
正式に依頼が  
あったんだ



私が内部で気を  
引いている間に  
協力者の娼婦が  
証拠を押さえ、

結果けが人もなく  
館を押収できたのが  
昨夜のことだ



誓って  
やましいことは  
していない...が、

君に知られずに  
済むのならと  
後ろめたく  
思ったのも事実だ

本当にすまな

いだあ!?





























ピアノちゃん  
大丈夫かい？

ちつとも  
身体  
動かないし…

あんなに  
いっぱい…

もうお嫁に  
行けない…

全っ然  
だいじよぶ  
じゃない！  
ばか！！

…さすがに  
それは冗談で  
言ってるんだよね？



……



…冗談にして  
くれるんですか？

それはまあ  
私だって  
その覚悟は  
とっくに…



あっ！？

はっ



え

かあっ





……じゃあ、



職業病……

ふっふっふ

しまった……!!

この手の話は  
ムードと  
シチュエーションを  
最大限演出しようと  
考えていたのに……!



楽しみに  
してるわね



……いいだろう。  
期待していて  
くれたまえよ

エンター  
テイナーさん

それも  
踏まえた上で  
びっくりさせて  
くれるんでしょ?

……ネタバレも  
いいところ  
なのに?